



<卓話>

ご紹介…林会員「本部からは寄付を一人当たり150ドルという方針が出ておりますが、わが福岡南ロータリーは42ドルということで下から数えて何番目というところですよ。」

卓話者…国際ロータリー第2700地区 ロータリー財団委員長 岩崎員久（八幡西 RC）

テーマ…<ロータリー財団について> 1、ロータリー財団の使命…ロータリアンが健康状態を改善し、平和への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。堅い

事を書いているようですが、要は「世界でよいことをしよう」と、皆さんからいただきました浄財を世界で有効活用しようということが財団の使命でございます。2、ロータリー財団の歴史…1917年、当時のRI会長アーチ・クランフが「世界でよいことをしよう」と唱え始まりました。財団100年の歴史の間に400億ドルくらい集

まっております。ロータリー財団は6年前に「未来の夢」という新しい方針を打ち立てました。皆さんからお預かりしたお金はこれまで3年後に半分が地区に戻ってきて活用されていきました。その中身を変更しまして、50%を国際奉仕に残り50%を地区のプロジェクトに使えるようになりました。（かつては80%が国際奉仕、20%が地区活動でした。）2700地区は27クラブがこの地区の補助金を使って活動中。国際奉仕は東南がレバノンで、最近久留米中央がフィリピンで国際奉仕にこのお金を使っております。このように地区補助金とグローバル補助金の2本立てで動いております。3、ロータリー財団6つの重点分野…6年前の「未来の夢」という方針は以下の6つの重点項目で成り立っています。1、平和の推進、2、疾病との闘い、3、水と衛生4、

母子の健康、5、教育の支援、6、地域経済の発展。地区補助金はこの縛りはありませんが、グローバル補助金はこの6つの項目に当てはまったプロジェクトでいなど承認されません。ロータリー財団の奨学金は返還義務がありません。2700地区は年間300万を出しています。4、ロータリー財団の評価…（チャリティーナビゲーター・アメリカ＝世界の財団を評価する組織）に寄付金の92%が有効活用されているということで10年連続4つ星評価（ロータリー財団ただひとつ）をいただいています。残り8%は事務費です。5、今年度より「ポリオ撲滅」から「ポリオ根絶」になりました。現在ポリオ常在国はパキスタン、アフガニスタンの2か国のみ。RIは2023年までには根絶したいとい

う方針です。6、寄付…年次基金寄付・使途指定寄付（ポリオプラス・平和フェロー等）2700地区の昨年寄付実績ひとり当たり123ドル。全国平均143ドルに達していません。寄付の楽な仕方はクレジットカードの利用をお勧めします。

あなたも毎年150ドル、ポリオに30ドル！皆さんの温かい支援をよろしくお願い申し上げます。